



謹賀新年

年頭のごあいさつ



「心豊かな和紙の里」をめざして

東秩父村長 足立 理助

新年あけましておめでとうございます。

健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、村民の皆さまには、村政運営にあたり日頃より温かいご支援ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、昨年4月から進めてまいりました地域計画策定事業が、多くの皆さまのご協力をいただき、「地域づくりの方針決定、事業の検討、事業の予算化」が

図られ、平成25年度より実施の運びとなります。この地域計画は、多くの村民の皆さまに参画いただき、地域の課題を共有し、地域が主体となって作成するものです。そして、計画に示された具体的な地域づくり事業を実践していただくことで、地域の活性化とコミュニティの醸成が図られることを期待いたします。

す。昨今、国の財政支援がますます厳しさを増すなかにあっても、

村民の皆さまに満足していただけるサービスを提供することが、これからの行政運営の最大の課題であると考えます。村並びに地域が今後発展していくためには、必要な政策を設定し、優先順位を検討したうえで、施策を執行してまいります。

4月から東西の小学校が統合され、「槻川小学校」として開校いたします。地域の宝である子どもたちには、新たな気持ちで、そして未来へ希望を持って

新しい歴史を築いていただきましたと思います。

私は、手を取りあつて守り抜いてきた先人のお力をお借りして、歴史ある東秩父村の活力を取り戻すための努力を重ね、村民の声が、そして願いが「心豊かな和紙の里」づくりに反映されるよう全力で取り組んでまいりますので、今後とも村政へのご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、皆さま方のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

新春を迎えて

東秩父村議会議員 眞下 昉身

新年明けましておめでとうございます。村民の皆さまにはご健勝にて平成25年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に対し、深いご理解とご支援を賜り議員一同厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は猛暑、集中豪雨等異常気象に見舞われ、各地で災害も多く発生し、改めて防災意識が高められた年でありまし

た。また、9月には若林村政から足立村政へと変わり、暮れには衆議院議員総選挙が執行されるなど村内外の政治状況も大きな変化をもたらした年でもありました。

相変わらず景気回復の兆しは見えず、社会情勢は閉塞感が漂います。加えて東日本大震災の影響を受けて財政状況はさらに厳しくなり、より一層効率のよ

い行政運営に携わる必要性を痛感していた折、村では住民自らが企画立案し活力ある住みよい地域づくりと、住民の連帯感を深めて心豊かなふるさとづくりを目指して「地域計画」の策定事業をスタートさせました。

皆さんが知恵を出し合つて、それぞれの地域に対応した、安心で安全な生活ができる村づくりの実現に行政と協働で推進していただきたいと思います。

今後推し進められる地方分権型社会に対応するため、村議会といたしましても、その機能を十分に発揮して、村政進展のため努力する所存ですので、どうか本年も変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、4月から新たに槻川小学校が開校し、次代を担う希望に満ちた児童たちが、健やかに成長されることを心から願つて止みません。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。